

これからの梨の栽培管理について（第10号）

平成23年9月27日
富山市技術者協議会園特部会
JAなのはな、富山農林振興センター

本年は、5月中旬以降、黒星病の二次感染（葉柄、果軸等への感染）がかなり多く見られ、感染した痕跡のある収穫果実も散見されました。しかし、5月から6月にかけて特別防除や耕種的防除の実施等対策の徹底により、被害は最小限に抑えられました。

今後、黒星病菌は、10～11月上中旬頃にかけて降雨により鱗片に感染し、そのまま越冬して翌年の芽基部病斑となります。来年の黒星病の発生を防ぐためにも、引き続き防除対策を徹底して下さい。

1. これからの防除について

現在のところ、9月の気温はやや高め、降水量はやや多めに推移しています。今後、気温の低下とともに、降雨によって黒星病の感染が拡大していきます。以下を目安に秋季防除を実施して下さい。

回数	散布月日	薬剤名と濃度	散布量	対象病害虫	防除実施日 (自己記入)
16	10月8～ 10日	ストロビードライフロアブル 3,000倍 (注意) 年間使用回数は3回まで!	300 ^{リットル}	黒星病	
17	10月22～ 24日	ドキリンフロアブル 1,000倍 (注意) 収穫前使用は3日前まで。収穫中、近隣の果実に注意!	300 ^{リットル}	黒星病	

【注意】 薬剤の安全使用基準を守って散布して下さい!

「ストロビードライフロアブル」…「前日まで」、「3回以内(総使用回数)」

収穫中の梨園に散布した場合は、収穫は散布24時間後以降に実施して下さい。

「ドキリンフロアブル」…「収穫3日前まで」、「9回以内(有機銅を含む農薬の総使用回数)」

収穫中の新高・新興などがある場合には、薬液がかからないように散布してください。

収穫中の梨にかかった場合は、収穫は72時間後(3日後)以降に実施してください。

2. 黒星病の発生の多かった園地では・・・

秋季防除の追加 下記を目安に、秋季防除の追加散布(3回目)を実施してください。

回数	散布月日	薬剤名と濃度	散布量	対象病害虫	防除実施日 (自己記入)
特散	11月5～ 8日	ドキリンフロアブル 1,000倍 (注意) 収穫前使用は3日前まで。収穫中、近隣の果実に注意!	300 ^{リットル}	黒星病	

その他対策

補正散布の徹底 薬剤のかかりにくい園地周囲等は手散布による補正散布を徹底して下さい。

SSによる防除コースの工夫 薬剤の死角を極力なくすように工夫して下さい。

散布量の確保 落葉にかかわらず、散布量は十分確保して下さい。

呉羽梨GAPチェックシートにしっかり取り組みましょう!